

## 【第 142 回対策本部会議】 9 月 16 日

健康福祉部長／8 月 24 日から感染者数が減少傾向になり、今週は毎日 1,000 人以下で推移している。

年代別の構成比は、20 代以下が 4 割、40 代以下が 7 割、高齢者は 1 割程度。全国的に全年代で減少している。

入院者は 171 人、病床使用率は 29.0%、うち中等症者は 72 人、中等症者用病床使用率が 12.2%。重症者は 1 人、重症者用病床使用率が 2.1%。ホテル療養者 80 人、ホテル使用率は 16.3%。

佐賀型フォローアップシステムは、医療機関が届ける感染者の発生届を、65 歳以上の人、入院を要する人、妊婦など重症化リスクがある人に限定。また、発生届の対象外の人にも県独自の健康フォローアップをこれまで通り行う仕組み。全国に先駆けて、2 日から実施している。

まず、医療機関が簡易な診断書を本人に交付し、情報を本人が登録する。これで、感染者への支援が従来通り可能になる。医療機関からは、発生届の対象者を約 2 割に減らせ、患者と向き合う時間が確保できた、との声を聞いた。

発生届の限定化は、26 日から全国一律となる。本県は、2 日から実施している方法を継続する。

佐賀型フォローアップシステムを機能させるためには、医療機関が簡易な診断書を書いて渡すこと、渡された本人が登録することが重要になる。重症者リスクがある人以外が、医療機関からこの簡易な診断書をもたらしたら、必ず陽性者登録センターに登録をお願いする。登録することで、従来の支援を受けられる。

また、この簡易な診断書は、陽性者確認の書類になるため、保存しておくこと。別の医療機関を受診する場合も提示すること。

以上を、佐賀型フォローアップシステムが機能するためをお願いしたい。

坂本副知事／現在、トラブルもなく、システムの変更もないということか。

健康福祉部長／順調に稼働しているので継続する。

坂本副知事／現在の「佐賀支え愛宿泊キャンペーン」は 9 月末まで。その後の説明をお願いしたい。

観光課長／全国を対象にした全国旅行支援がスタートする予定。佐賀県の全国版キャ

ンペーン名称は「GO!!佐賀旅」。国がスタート日とマニュアルを発表したら、県内の宿泊施設や旅行代理店と調整し、早期に開始したい。今回の全国旅行支援は、1人当たり1日で最大1万円ほどお得になる予定。

坂本副知事／「おいしーと食事券」第2弾、第3弾の説明を。

産業労働部長／「SAGA おいしーと食事券」は、20万冊を2回に分けて販売する。

1回目は18日(日)から10万冊、2回目は26日(月)から残りの10万冊を販売する予定。販売開始時間は、各店舗によって違う。

知事／台風にご注意を。

産業労働部長／前日も翌日には完売したので、早めの購入をお勧めするが、18日は台風が接近するので気をつけてほしい。

多くの人が購入できるよう、1日当りの購入冊数を5冊までに限定する。

知事／感染者数は、24日連続で前週の同じ曜日を下回っている。8月下旬から9月にかけて全世代で急激に減少し、特に10歳未満と10歳代の減少が顕著。

本日の病床使用率は29.0%。66日ぶりに20%台に戻った。全国で30%を切っているのは、佐賀県を含め6県のみ。

検証の結果、感染者数が2桁に戻るの、10月下旬から11月上旬の見込み。オミクロン株の終息を期待している。

9月2日から導入した佐賀型フォローアップシステムを分かりやすく説明する。従来は、すべての陽性者の発生届を医師が、HER-SYS（ハーシス）というシステムに入力していた。医師は入力作業に忙殺され、大きな負担になっていた。

国が、ハーシスに入力する対象者を重症者リスクのある人に限定してもよいと提案し、佐賀を含め4県がこの制度を導入した。

導入の際、リスクのない人の情報が入力されないため、容体が急変した場合などへの不安の声があった。そこで佐賀県は、重症リスクのない人に用紙を渡すことにした。その下半分は、医師が7、8項目を書き込んだ簡易な診断書になっている。その用紙に記載されたQRコードを読み込み、本人が入力し登録するシステム。

医師と県民が少しずつ協力し、お互いさまという佐賀型フォローアップシステム。導入以降、9割の人が登録した。登録してもらおうと、各機関が情報共有できるようになる。

国は、26日から全国的に発生届を重症化リスクがある人に限定する制度に変更する。

そうすると、重症化リスクがない人の情報は、入力されなくなってしまう。本県は、昨年から県独自の“アマビエシステム”を構築し、それが佐賀型フォローアップシステムへとつながった。このシステムが機能し、すべての陽性者のフォローアップができているので、このまま続けようと提案した。

26日に一律の措置になっても、佐賀では現在のシステムを継続していく。県民の皆さんは、陽性判定後に渡される用紙を捨てずに持っていてほしい。

感染者数も減り、日常に戻りつつある。BA.5との折り合いのつけ方もみえてきた。感染症対策を行い、今後も向き合っていきたい。

県内では3年ぶりにバルーンフェスタが開催され、JRの臨時バルーン駅も設置される。唐津くんちも通常開催が決定した。県の通年行事の伝承芸能祭や佐賀さいこうフェスも通常の形で開催する。

今なお、医療現場で尽力いただいている皆さん方に感謝申し上げます。日常を取り戻していく中、佐賀らしくお互いに支え合う形で、今後の状況に対応していきたい。